

富士小地区 コミュニティ委員会

長いコロナ禍による自粛もようやく終わり、この「コミュニティ台東」も令和3年2月より3年ぶりの発行です。富士小地区コミュニティ委員会も正常に戻りました。

そんな中、当委員会では新規部員募集中です。

サークルはバドミントン、バレーボール、ビーチバレー、空手、軟式テニス、少年野球、ジュニアバレーのスポーツクラブから俳画教室、漢字書道、かな書道の文化系があります。それぞれのサークルとも和気あいあい、充実して活動されています。

ご興味の方おられましたら大歓迎です。是非ともご一報ください。

活動としては、毎月22日に定例会を開いており、このうち6月は年度総会を開催しています。そして台東区コミュニティ交流大会とコミュニティまつりを行なっています。また、近隣地域のお祭りやイベントにも協力しております。

ご承知のとおりこれら活動も5月までコロナ禍により中止しておりましたが、3年ぶりに再開されました。そんな中昨年、早くも再開されたのは七ヶ町盆踊り大会でした。

今回は毎年8月の第一土日に行われているその盆踊りについて述べさせていただきます。

令和5年8月5日6日の二日間、この地域の7町会合同での盆踊りが、学

校前の富士公園にて盛大に開催されました。

富士小学校近隣の象一、象潟、象三、馬二、馬三、田聖、浅伍の7町会です。昨年で48回を数えコロナ禍の3回の中止がありますから初回から51年たちます。初回から青年部が主体で運営しており、会場設営にやぐらの組立は鳶頭、電気配線に近所の電気店にお願いしている他は(お二人共)かつての青年部員でしたが)各町会の青年部員の貢献が高い盆踊り大会です。太鼓の打手は富士小の生徒さんで、教えるのはかつてこの大会で打ち手として活躍した現在の青年部員です。

練習場所は当日の二週間前から富士小学校の体育館、会議室、和室を利用して、その間のコミュニティの使用は中止としました。その太鼓をたたく小学生は1年生から6年生まで50人以上集まり、中には中学生も数人いました。これもコロナで3年出来なかった影響でしょうか? 曲目は1年生の東京音頭にはじまり、2年生が大東京音頭、3年生炭坑節、4年生花笠太鼓、5年生は台東区ならではの桜橋音頭、6年生は白浜音頭、そして締めは中学生グループのズンドコ節です。踊り手は各町女性部さん中心で、飛び入り参加もあり大変賑やかでした。また、公園のまわりの路地に各町青年部による屋台が出店されました。金魚すくい、ヨーヨー釣り、輪投げ、射的、おもちゃ等々全て原価販売で、これも大盛況でした。本部席には各町会の町会長、青年部長が控えており、それこそ老若男女全ての人が楽しんだ二日間でありました。

最後に運営面ではなかなか厳しくなってきたようですが、私もかつての青年部員として、この盆踊り大会を見学させていただくと、改めて年代の流れ、繋がり大切さを強く感じました。これからも、なんとか続けていかれませう事を切に祈ります。そしてコミュニティとしてなんらかの協力が出来ればと思っています。

運営委員長 久代 喜志治



浅草小地区 コミュニティ委員会

浅草小地区コミュニティ委員会の総務・渉外委員として、早いもので29年がたち、今年度は運営委員長を務めさせていただきます。

3年前のコロナウイルス拡大により、29年間で初めてコミュニティ活動が休止し、イベントも中止となり、人々との繋がりが希薄になってゆく淋しさ、何もできないもどかしさを痛感いたしました。

制限下ではあるものの、昨年度より三社祭や三ヶ町納涼盆踊り大会が開催され、待ちに待ったお囃子や太鼓を演奏することができて、地域の方々にも楽しんでいただけるようになりました。

コロナウイルスの影響で、残念ながら活動休止や縮小されて解散した団体もありましたが、今年度は17団体が活動しております。

各サークルの交流を図るイベントも、3年間で中止していましたが、秋にはビーチボール・テニス等のスポーツ大会と、冬には全サークル参加で盛り上がる懇親会を予定しております。

まだコロナウイルスの心配はありますが、当委員会設立より掲げている「心と心のふれあいとうるおいのあるまちづくり」をモットーに、明るく楽しいコミュニティ活動ができ、各団体が円滑に活動できるように、今年度は、山本会長始め5名の役員で運営してまいります。役員もぎりぎりの人数となりました。地域の皆様のご協力とご参加、そして一緒に活動して下さる方を心待ちにしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

運営委員長 金子 和雄



八田さん



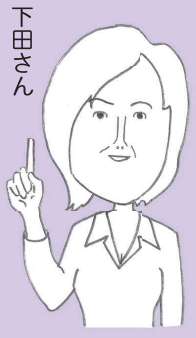
市原さん



山本会長



金子さん



下田さん